

脳神経外科 手術

手術名	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年
開頭による脳腫瘍摘出術(生検術含む)	24	25	34	21	27
経蝶形洞による下垂体腫瘍摘出術	3	6	6	8	2
脊髄腫瘍摘出術	1	1	0	0	1
脳膿瘍摘出術、ドレナージ術	0	0	2	0	1
脳動脈瘤頸部クリッピング(被包術を含む) (破裂、未破裂)	54 (12,42)	59 (27,32)	45 (18,27)	34 (17,17)	42 (11,31)
脳動静脈奇形摘出術(動静脈瘻含む)	1	0	1	0	0
微小血管減圧術 (三叉神経痛, 片側顔面痙攣)	12 (5,7)	12 (3,9)	10 (1,9)	10 (3,7)	4 -1.3
脳出血・血腫除去術	16	18	9	11	16
硬膜下血腫・硬膜外血腫除去術	8	2	6	4	13
浅側頭・中大脳動脈 吻合術	3	1	4	2	4
血栓内膜剥離術	5	3	2	0	6
穿頭洗浄術	104	109	133	106	112
脳室ドレナージ	8	10	20	3	8
脳室腹腔短絡術(水頭症手術)	13	19	5	10	7
頭蓋形成術	8	3	3	4	3
脊柱管拡大術	8	4	4	3	1
脊椎固定術	2	2	2	5	2
血管内手術	37	22	36	47	37
コイル塞栓術	(5)	(2)	(9)	(6)	(11)
CAS	(10)	(2)	(7)	(6)	(7)
神経内視鏡を用いた手術	5	2	2	3	1
定位脳手術	6	3	2	1	6
定位的血腫除去術	(1)	(3)	(1)	(1)	(1)
腫瘍生検術	(2)	0	0	0	(5)
その他	(3)	0	(1)	0	(0)
その他	12	15	11	11	9
合 計	331	316	337	283	302

脳神経外科 手術症例 2009 年～2016 年

●未破裂脳動脈瘤

くも膜下出血は日本の統計では人口 10 万人あたり発症 20 人程度、死亡は 10 人であり、外国(アメリカ)のFrammingham studyによると、発症 30 日目で overall の死亡率が 47%、1 年後が 56%、5 年後 59%であったと報告されています。脳動脈瘤は破裂すると死亡するか、後遺症を残す危険性が高く、それを予防するためには破裂前に開頭手術により動脈瘤の柄部のクリッピングや血管内手術で動脈瘤閉鎖が行われます。しかし、いずれの方法も、成功率は 100%ではありません。また手術成績は術者の技術水準により大きく影響されます。

未破裂動脈瘤の年間破裂率は一般的には約2%と報告されています。

しかし、1998 年のNew England Journal of Medicine に、破裂脳動脈瘤に合併しない未破裂動脈瘤に対して 10mm 以下の大きなものが破裂するのは 0.05%/年という発表がなされ、未破裂動脈瘤に対する治療方針に一石を投じました。未破裂脳動脈瘤は必ずしもその人にとって破れるとは限りませんが、しかし破れると重大な結果を招きます。

予防的手術については、日本脳ドック学会の手術適応ガイドラインは脳動脈瘤が硬膜内にある、動脈瘤が 5mm より大きい、年齢が 70 歳前、重篤な合併症がないことを目安としていますが、現段階では妥当ではないかと思えます。

手術による後遺症は死亡率 0%～7%、合併症 4%～15.3%との報告がみられます。表は当院での手術成績です。以上の問題点を踏まえて、未破裂脳動脈瘤の状態、手術の安全性など説明し、術者から手術を勧めるのではなく、本人の希望に沿った治療なり経過観察などの自己決定をしていただくことを基本的スタンスとしています。

●未破裂脳動脈瘤の手術成績（1995 年 1 月 1 日～2016 年 12 月 31 日）

手術成績	症例数
手術により新たな症状を生じ残さなかったもの	739 例(96.5%)
手術により新たな症状が残ったもの	27 例(3.5%)
合 計	766 例

下記の 77 例では一時的に症状や異常所見がみられたが、後に改善、消失した。

CT・MRI の異常(25 例)、慢性硬膜下血腫(10 例)、痙攣<けいれん>(8 例)、複視(8 例)、失語症(6 例)

顔面麻痺(4 例)、精神症状(4 例)、片麻痺(3 例)、尿崩症(2 例)、嗅覚障害(2 例)

硬膜動静脈瘻(1 例)、空間失認(1 例)、視野障害(1 例)、髄液漏(1 例)、見当識障害(1 例)

(1/1/1995—12/31/2016)

●顔面痙攣に対する微小血管減圧術の手術成績（1995年1月1日～2016年12月31日）

手術成績	症例数(%)
消失	132例 (84.6%)
軽減(薬が必要)	18例 (11.5%)
不変	6例 (3.8%)
悪化	0例 (0%)
合計	156例
合併症*	18例 (11.5%)

*聴力障害 : 7例

*小脳梗塞 : 2例

*顔面麻痺 : 5例

*硬膜下血腫 : 1例

*嘔声 : 3例

(いずれも症状は一時的で消失した)

*髄液漏れ 3例(手術で修復)

(1/1/1995-12/31/2016)

●三叉神経痛に対する微小血管減圧術の手術成績（1995年1月1日～2016年12月31日）

手術成績	症例数(%)
消失	56例 (82.4%)
軽減(薬が必要)	7例 (10.3%)
不変	5例 (7.4%)
悪化	0例 (0%)
合計	68例
合併症*	2例 (2.9%)

*髄液漏れ : 4例(手術で修復)

(1/1/1995-12/31/2016)